2025 年度

報告書

青山学院大学保健管理センター

巻頭言
健康情報を健康行動へ

保健管理センター副所長　　塩澤　友規

2025 年度青山学院大学保健管理センター年報の発刊にあたり、日頃より当センターの活動にご理解とご協力を賜っている学生、教職員ならびに学内外の関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。当センターは、学生と教職員が安心して学び、働き、それぞれの力を十分に発揮できる環境を支えることを使命として、健康診断、健康相談、救急対応、感染症対策、健康教育および産業保健活動に取り組んでまいりました。

今日、大学を取り巻く健康課題は一層複雑になっています。生成 AI や SNS を通じて健康情報を容易に得られるようになった一方、その内容を適切に評価し、自らに必要な情報を選び、実際の健康行動や専門的支援につなげる力が、これまで以上に求められています。また、メンタルヘルス、生活習慣、感染症、暑熱環境への備えなど、健康課題は相互に関連しており、個人への支援だけでなく、誰もが自然に健康を守ることのできる環境づくりが重要となっています。

2025 年度は、学生定期健康診断の項目と運用を見直し、青山キャンパスにおいても受付時間を性別によらない方式とした結果、両キャンパスで受診率が前年度を上回りました。健診後には、有所見者や受診結果が未報告の学生に対し、学生ポータルや書面を通じた継続的な働きかけを行いました。教職員についても、定期健康診断、フォローアップ健診、長時間労働者への面接指導、ストレスチェック、休職・復職支援を通じ、身体面と心理面の双方から健康を支える体制を維持しました。

Web 健康調査や健康診断の結果からは、やせ、朝食習慣の低下、睡眠、眼精疲労、月経に関する問題、喫煙・飲酒など、大学生活と密接に関わる課題が改めて明らかになりました。これらに対し、禁煙啓発、ウォーキング、女性の健康、熱中症対策に加え、自殺予防、AED、プレコンセプションケア、飲酒教育、ロコモティブシンドローム予防など、多様な健康教育を実施しました。他部署、学生、企業等との連携により、知識の提供にとどまらず、健康について考え、行動する機会を広げることができたことは、本年度の大きな成果です。

さらに、全国大学保健管理研究集会では、「大学生のヘルスリテラシーに関する調査」を発表しました。日々の業務から得られる情報を分析し、学術的知見として発信するとともに、その成果を再び学内の支援に還元することは、大学に置かれた保健管理センターの重要な役割です。健康情報を「知る」ことから、自らの健康を守る「行動」へとつなげるため、今後も実践と研究の循環を大切にしてまいります。

これからも、対面での相談がもつ安心感と、デジタル技術やデータ活用の利点を適切に組み合わせ、一人ひとりの多様性とプライバシーを尊重した支援を進めてまいります。そして、疾病への対応にとどまらず、学生・教職員のウェルビーイングを支え、健康を共に育むキャンパスの実現を目指して、関係部署との連携を一層深めてまいります。

本年報が、2025 年度の活動をご理解いただくための記録であるとともに、今後の大学保健のあり方を皆様と考える契機となれば幸いです。引き続き、保健管理センターへのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

目次

2025 年度業務報告

１．年間業務内容 - 3 -
２．学生健康診断 - 5 -
⑴ 学生健康診断受診状況(外部医療機関での受診者数を含む) - 5 -
⑵ 学生定期健康診断項目別受診率 - 7 -
⑶ 学生定期健康診断有所見者の経過 - 8 -
⑷ 学生の身体状況(肥満とやせ) - 8 -
⑸ 学生定期健康診断 Web 健康調査 - 10 -
⑹ 感染症罹患報告者数 - 14 -
⑺ 学生の休学者・退学者数 - 14 -
３．教職員健康診断・産業保健 - 15 -
⑴ 教職員定期健康診断　項目別受診率（キャンパス別） - 15 -
⑵ 教職員定期健康診断　有所見者の経過（全キャンパス） - 16 -
⑶ 教職員の身体状況（肥満とやせ） - 16 -
⑷ 保健指導 - 17 -
⑸ 教職員の休職・復職者数（対象：学院全体） - 17 -
⑹ 長時間労働者への産業医による面接 - 18 -
⑺ ストレスチェック受検率に関する報告（対象：学院全体） - 19 -
４．集団健康教育 - 19 -
５．その他の法定健康診断 - 21 -
⑴ 特殊健康診断（相模原キャンパス） - 21 -
⑵ 雇入れ健康診断 - 23 -
⑶ 特定業務従事者健康診断 - 23 -
６．健康診断証明書発行業務 - 23 -
⑴ 青山キャンパス健康診断証明書発行枚数 - 23 -
⑵ 相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数 - 24 -
７．救急処置・検査等保健管理センター利用状況 - 24 -
⑴ 青山キャンパス - 24 -
⑵ 相模原キャンパス - 25 -
８．各キャンパス業務内容利用状況 - 26 -
⑴ 青山キャンパス - 26 -
⑵ 相模原キャンパス - 27 -
９．行事のための救急待機保健管理センター利用状況 - 28 -
１０．各種情報処理 - 29 -
⑴ 学生健康診断処理関係 - 29 -
⑵ 教職員健康診断処理関係 - 29 -
１１．全国保健管理研究集会研究発表 - 30 -

2025 年度業務報告

１．年間業務内容

年	月	業　　務	対象者	キャンパス・実施期間
2025年	4月	入学式救護待機	学生･来校者	青山(4/1)
		学生定期健康診断	学生	青山(3/31･4/1･2･3･4) 相模原(4/2･3･4･5)
		学生 Web 健康調査	学生	青山(3/31～4/15) 相模原(3/31～4/15)
		内科医による健康相談	学生･教職員	青山(毎週月･火･水･木･金通年) 相模原(毎週月･火･木･金通年)
		精神科医による精神衛生相談	学生･教職員	青山(毎週水･木･金通年) 相模原(毎週火･木通年)
		学生健康診断有所見者･有症状者への対応	学生	青山･相模原(4/7～通年)
		大学指定医療機関での学生フォローアップ健診（自費）	学生	青山･相模原(4/14～6/30)
		健康診断証明書発行	学生	青山･相模原(4/25～通年)
		学生ポータルから学生健康診断結果閲覧開始	学生	青山･相模原(4/25～通年)
		長時間労働者への産業医による面接指導	職員	青山･相模原(4 月～月毎)
	5月	特殊健康診断・特定業務従事者健康診断	学生･教職員	相模原(5/7・8・9)
	6月	ﾍﾟｱﾚﾝﾂｳｨｰｸｴﾝﾄﾞ企画ｷｬﾝﾊﾟｽ見学会救護待機	来校者	青山(6/7) ･相模原(6/14)
	7月	保健管理センター運営委員会	運営委員	青山･相模原(7/9)
		オープンキャンパス救護待機	来校者	相模原(7/13)
		大学院説明会救護待機	来校者	青山(7/19)
	8月	対面型オープンキャンパス救護待機	来校者	青山(8/1･2･3)
		第 63 回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会	保健管理ｾﾝﾀｰ	青山･相模原(8/28･29)
	9月	理工学研究科入試救護待機	受験生	相模原(9/5･6)
		社会情報学研究科入試救護待機	受験生	青山･相模原(9/6)
		第 63 回全国大学保健管理研究集会	保健管理ｾﾝﾀｰ	青山･相模原 (9/10･11)
		大学同窓祭救護待機	同窓生	青山(9/23)
		教職員定期健康診断	教職員	青山(9/25･26･29･30) 相模原(9/24～26)
	10月	教職員フォローアップ健診	教職員	青山･相模原(10/8～2026/2/13)
		相模原祭救護待機	学生･来校者	相模原(10/11･12)
		ﾍﾟｱﾚﾝﾂｳｨｰｸｴﾝﾄﾞ企画秋のｷｬﾝﾊﾟｽ見学会救護待機	来校者	相模原 (10/11)
		2026 年度入学者選抜(年内実施)試験救護待機	受験生	青山(10/11･25) 相模原(10/25)
	11月	青山祭救護待機	学生･来校者	青山(10/31･11/1･2)

年	月	業　　務	対象者	キャンパス・実施期間
2025年	11月	地球社会共生学部10周年イベント待機	学生・来校者	相模原（11/8）
		ﾍﾟｱﾚﾝﾂｳｨｰｸｴﾝﾄﾞ企画秋のｷｬﾝﾊﾟｽ見学会救護待機	来校者	青山(11/29)
		第44回八大学保健管理担当者会議	保健管理ｾﾝﾀｰ	青山・相模原(11/21)
		2026年度入学者選抜(年内実施)試験救護待機	受験生	青山(11/22・24) 相模原(11/24)
	12月	理工学研究科入試救護待機	受験生	相模原(12/6)
		2026年度入学者選抜(年内実施)試験救護待機	受験生	青山(12/6)
2026年	1月	大学入学共通テスト救護待機	受験生	青山(1/17・18)
		社会情報学研究科入試救護待機	受験生	青山・相模原(1/24)
	2月	一般選抜入試救護待機	受験生	青山(2/7・9・10・11・13・14・15・17・18・19)
	3月	AOGAKU OPEN DAY 救護待機	来校者	相模原(3/14) 青山(3/21)
		学部・大学院学位記授与式救護待機	学生	青山(3/25)

【保健管理センター通年業務】

＊各種健康診断の実施
（学生健康診断、教職員健康診断、特殊健康診断、有害な業務に係る歯科健康診断、特定業務従事者健康診断、雇用時健康診断）

＊各種証明書の発行
（健康診断証明書、英文健康診断証明書、感染症登校許可証明書等）

＊救急対応および応急処置

＊医師（内科医・精神科医）および保健師・看護師による健康相談

＊健康セミナー、健康教育の実施
（個別保健指導、集団健康教育）

＊産業保健活動
（教職員の休職・復職支援、長時間労働者への面接指導、高ストレス者への面接指導等）

＊各種届出および申請書の作成
（医療廃棄物処理、私立大学等経常費補助金申請書等）

＊各種統計業務
（労働基準監督署、文部科学省、保健所、大学資料集等）

＊感染症対応
（COVID-19、インフルエンザ、麻しん、結核等）

２．学生健康診断

(1) 学生健康診断受診状況(外部医療機関での受診者数を含む)

青山キャンパス　　対象者数: 2025/5/1 現在(但し専門職大学院後期入学生 4 名のみ追加)　受診者数:2025/9/30 現在

		1年生	2年生	3年生	4年生	男合計	女合計	合計
文学部	学生数	801	877	808	855	1095	2246	3341
	受診者数	761	692	518	462	727	1706	2433
	受診率	95.0%	78.9%	64.1%	54.0%	66.4%	76.0%	72.8%
教育人間科学部	学生数	334	323	318	328	425	878	1303
	受診者数	331	268	249	231	336	743	1079
	受診率	99.1%	83.0%	78.3%	70.4%	79.1%	84.6%	82.8%
経済学部	学生数	577	676	553	674	1771	709	2480
	受診者数	563	467	280	246	1060	496	1556
	受診率	97.6%	69.1%	50.6%	36.5%	59.9%	70.0%	62.7%
法学部	学生数	554	575	542	575	1088	1158	2246
	受診者数	534	460	332	261	698	889	1587
	受診率	96.4%	80.0%	61.3%	45.4%	64.2%	76.8%	70.7%
経営学部	学生数	548	569	569	598	1194	1090	2284
	受診者数	542	459	329	261	800	791	1591
	受診率	98.9%	80.7%	57.8%	43.6%	67.0%	72.6%	69.7%
国際政治経済学部	学生数	334	339	331	373	699	678	1377
	受診者数	319	258	156	163	422	474	896
	受診率	95.5%	76.1%	47.1%	43.7%	60.4%	69.9%	65.1%
総合文化政策学部	学生数	320	255	285	305	334	831	1165
	受診者数	316	222	206	155	241	658	899
	受診率	98.8%	87.1%	72.3%	50.8%	72.2%	79.2%	77.2%
大学院生	学生数					179	227	406
	受診者数					97	145	242
	受診率					54.2%	63.9%	59.6%
専門職大学院生	学生数					244	197	441
	受診者数					98	109	207
	受診率					40.2%	55.3%	46.9%
青山キャンパス合計	学生数	3468	3614	3406	3708	7029	8014	15043
	受診者数	3366	2826	2070	1779	4479	6011	10490
	受診率	97.1%	78.2%	60.8%	48.0%	63.7%	75.0%	69.7%
科目等履修生	学生数					46	27	73
	受診者数					7	4	11
	受診率					15.2%	14.8%	15.1%
交換留学生	学生数					49	76	125
	受診者数					46	75	121
	受診率					93.9%	98.7%	96.8%

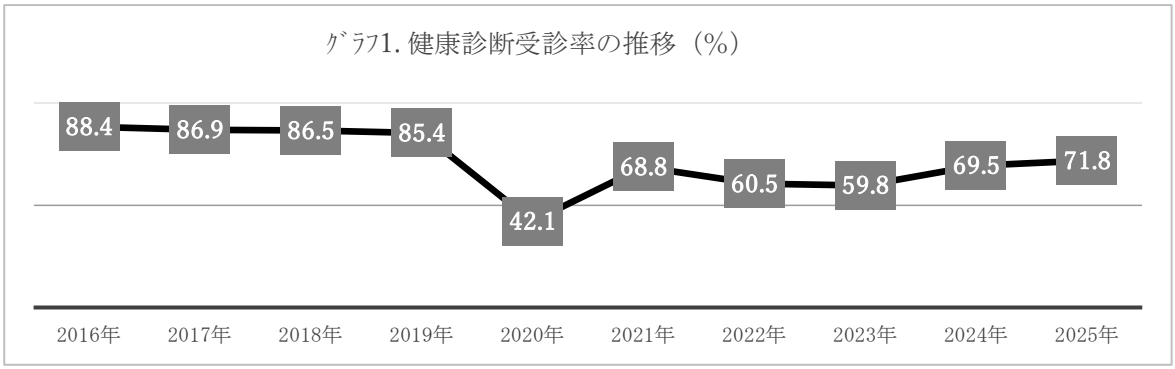
相模原キャンパス　　対象者数:2025/5/1 現在(但し大学院後期入学生１名のみ追加)　受診者数:2025/9/30 現在

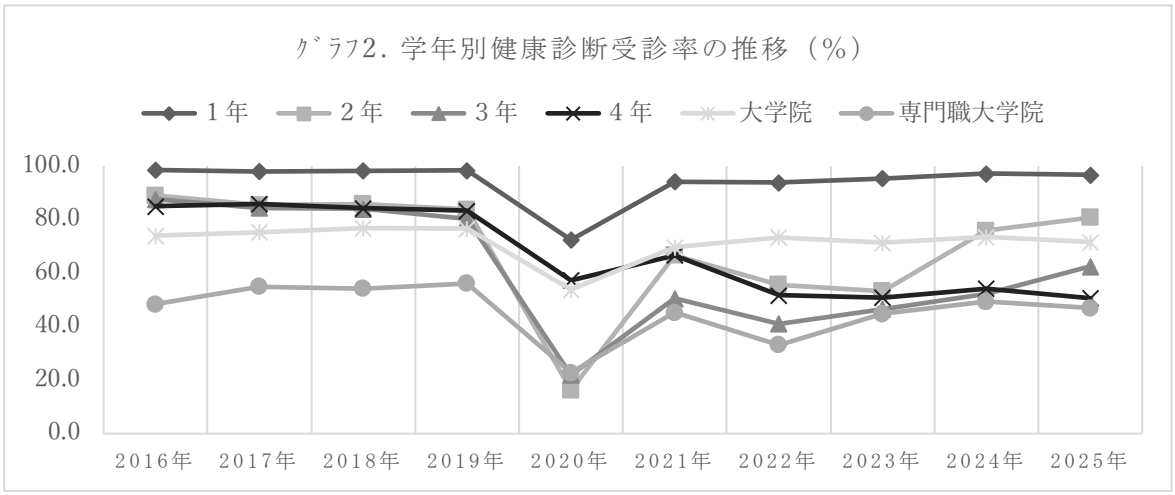
		1年生	2年生	3年生	4年生	男合計	女合計	合計
理工学部	学生数	693	738	891	707	2434	595	3029
	受診者数	656	660	562	416	1781	513	2294
	受診率	94.7%	89.4%	63.1%	58.8%	73.2%	86.2%	75.7%
社会情報学部	学生数	250	235	264	211	567	393	960
	受診者数	244	199	165	109	401	316	717
	受診率	97.6%	84.7%	62.5%	51.7%	70.7%	80.4%	74.7%
地球社会共生学部	学生数	185	221	218	215	245	594	839
	受診者数	183	199	167	113	183	479	662
	受診率	98.9%	90.0%	76.6%	52.6%	74.7%	80.6%	78.9%
コミュニティ人間科学部	学生数	260	252	250	265	338	689	1027
	受診者数	248	207	176	165	233	563	796
	受診率	95.4%	82.1%	70.4%	62.3%	68.9%	81.7%	77.5%
大学院生	学生数					524	93	617
	受診者数					415	74	489
	受診率					79.2%	79.6%	79.3%
相模原キャンパス合計	学生数	1388	1446	1623	1398	4108	2364	6472
	受診者数	1331	1265	1070	803	3013	1945	4958
	受診率	95.9%	87.5%	65.9%	57.4%	73.3%	82.3%	76.6%
科目等履修生	学生数					－	－	－
	受診者数					－	－	－
	受診率					－	－	－
交換留学生	学生数					11	13	24
	受診者数					10	13	23
	受診率					90.9%	100%	95.8%

大学総計(両キャンパス)

	1年生	2年生	3年生	4年生	学部生合計	大学院生	専門職大学院生	大学生総合計	科目等履修生	交換留学生
学生数	4856	5060	5029	5106	20051	1023	441	21515	73	149
受診者数	4697	4091	3140	2582	14510	731	207	15448	11	144
受診率	96.7%	80.8%	62.4%	50.6%	72.4%	71.5%	46.9%	71.8%	15.1%	96.6%

2024 年度に健康診断項目の見直しを実施するとともに、2025 年度より青山キャンパスにおいても受付時間を性別によらない運用へ変更した。その結果、定期健康診断受診率は、青山キャンパスで 69.7%、相模原キャンパスで 76.6%（科目等履修生・交換留学生を除く）となり、前年度と比較してそれぞれ青山キャンパスで 2.3%、相模原キャンパスで 2.2%上昇した。学年別に見ると、両キャンパスともに 4 年生の受診率が上昇しており、青山キャンパスでは 4.7%、相模原キャンパスでは 0.8%の上昇が認められた。





(2) 学生定期健康診断項目別受診率

青山キャンパス(科目等履修生・交換留学生含む)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	15241	4532	6090	10622	63.6%	75.0%	69.7%
レントゲン	4440	1884	2325	4209	92.2%	97.0%	94.8%
視力	1173	2970	4289	7259	54.1%	68.3%	61.7%
内科診察	15241	4532	6090	10622	63.6%	75.0%	69.7%

相模原キャンパス(科目等履修生・交換留学生含む)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	6496	3023	1958	4981	73.4	82.4	76.7
レントゲン	1831	1091	608	1699	91.1	95.9	92.8
視力	5108	2227	1423	3650	67.9	77.8	71.5
内科診察	6496	3023	1958	4981	73.4	82.4	76.7

(3) 学生定期健康診断有所見者の経過

健診項目		有所見者数	有所見率	有所見者の経過					
				異常なし	所見あるも問題なし	経過観察	要治療（病院で治療中もしくは経過観察中含む）	結果未報告	未来室
胸部レントゲン		213	3.6%	4	161	33	甲状腺腫・気管偏立(1) 左気管偏立(1)、 側弯(1)、 気胸(2)、肺炎 (1)	右側下部肺野こすりガラス状陰影の疑い(1) 心陰影に拡大の疑い (1) 右側上部縦隔に拡張の疑い(1) 両肺野異状影 (1)	5
内科	循環器	107	0.7%	35	49	8	Ⅰ度房室ブロック (1) LVH by voltage criteria (1) 洞性徐脈 (2)、PVC (1) 不完全右脚ブロック (2) 大動脈弁閉鎖不全症 (1) 僧帽弁閉鎖不全省 (1)	心房細動 (1)	5
	リンパ	13	0.1%	2	7	0	右顎下リンパ節腫脹 (2) 耳下腺腫脹腫脹 (1)	左頸部リンパ節腫脹 (1)	0
	甲状腺	75	0.6%	37	13	3	甲状腺機能低下症(3) 甲状腺機能亢進症(2) 橋本病(5)、バセドウ病(5) 甲状腺腫大(3)、甲状腺腫瘍 (1) 甲状腺のう胞状腫瘍 (1)	2	0
	黄疸	0	0.0%	0	0	0	0	0	0
	貧血	30	0.2%	18	2	7	貧血(2)	1	0
	運動機能	7	0.1%	0	5	0	側弯 (1) 足根骨癒合症(1)	0	0

定期健康診断における有所見者数は延べ 445 人であった。内科診察が全学年を対象とした健診項目に追加されたことに伴い、前年度と比較して有所見者数は増加した。精密検査等の結果は、「異常なし・所見あるも問題なし」が 333 人、「経過観察」が 50 人、「要治療(医療機関で治療中または経過観察中を含む)」が 43 人であった。また、未来室や医療機関受診後の結果が未報告の学生に対しては、体調および受診状況の確認を目的として、学生ポータルや手紙による定期的な呼び出しを行い、継続的なフォローを実施した。

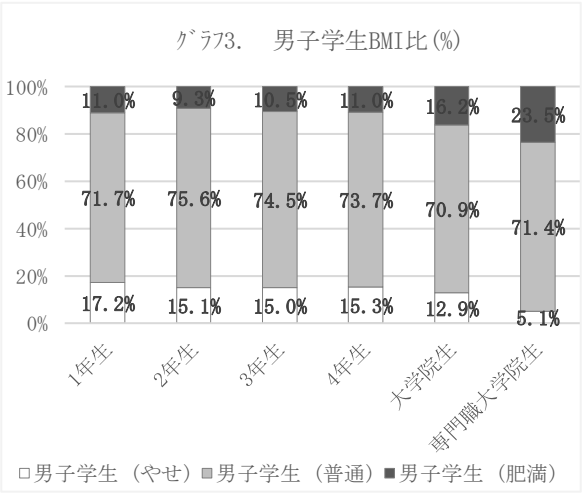
(4) 学生の身体状況(肥満とやせ)

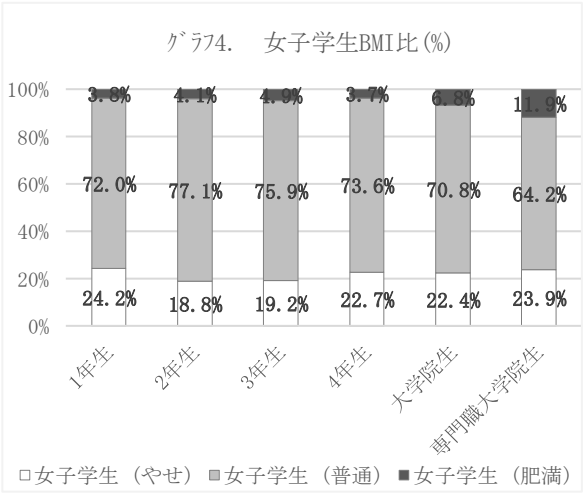
①身長・体重・ＢＭＩの平均値

	男子学生				女子学生			
	身長(cm)	体重(kg)	ＢＭＩ	平均年齢	身長(cm)	体重(kg)	ＢＭＩ	平均年齢
1年生	171.8	62.7	21.2	18.4	158.9	51.0	20.2	18.2
2年生	172.0	62.5	21.1	19.4	159.0	51.8	20.5	19.2
3年生	172.3	63.4	21.3	20.5	159.3	51.9	20.4	20.2
4年生	172.1	63.3	21.4	21.5	159.0	51.1	20.2	21.3
学部生全体平均	172.0	62.9	21.2	19.6	159.1	51.4	20.3	19.5
大学院生	172.6	65.6	22.0	24.2	160.2	52.6	20.5	25.5
専門職大学院生	172.7	68.8	23.0	27.4	161.7	54.6	20.8	26.3
大学全体平均	172.1	63.2	21.3	20.0	159.1	51.5	20.3	19.8
科目等履修生	168.1	64.0	22.7	51.9	157.7	49.0	19.6	42.8
交換留学生	176.6	70.6	22.6	21.9	162.7	57.8	21.8	21.6

②やせ・普通・肥満学生の割合(%)

	男子学生			女子学生		
	18.5 未満 (やせ)	18.5 以上 25 未満 (普通)	25 以上 (肥満)	18.5 未満 (やせ)	18.5 以上 25 未満 (普通)	25 以上 (肥満)
1 年生	17.2	71.7	11.0	24.2	72.0	3.8
2 年生	15.1	75.6	9.3	18.8	77.1	4.1
3 年生	15.0	74.5	10.5	19.2	75.9	4.9
4 年生	15.3	73.7	11.0	22.7	73.6	3.7
学部生全体平均	15.9	73.7	10.4	21.3	74.6	4.1
大学院生	12.9	70.9	16.2	22.4	70.8	6.8
専門職大学院生	5.1	71.4	23.5	23.9	64.2	11.9
大学全体平均	15.5	73.5	11.0	21.4	74.3	4.3
科目等履修生	14.3	42.9	42.9	50.0	50.0	0
交換留学生	10.7	66.1	23.2	21.6	55.7	22.7





本学学部生における肥満者の割合は、男性 10.4%、女性 4.1%であった。一方、やせの割合は男性 15.9%、女性 21.3%であった。これらの結果を『学生の健康白書 2021』と比較すると、男女ともに「やせ」の割合が高く、「肥満」の割合は低い傾向が認められた。例年同様、BMI15 以下の学生に対しては、保健師・看護師による個別面談を実施し、介入の必要が認められた場合には、大学の精神科医との面談機会を設け、医療機関の受診や学生相談センターのカウンセリングにつなげるなどの対応を行った。また、BMI25 以上の学生に対しては、肥満予防に対する意識啓発と生活習慣の改善を目的として、年 2 回資料の配信を行った。さらに、BMI30 以上の学生に対しては、やせの学生と同様に保健師・看護師による個別面談を実施し、必要に応じて大学の内科医や精神科医との面談機会を設け、医療機関の受診につなげるなどの支援を行った。

しかしながら、やせおよび肥満と判定された学生に対して面談機会を設けているものの、一度も面談に応じない学生も一定数見受けられる。このため、呼び出しのタイミングやアプローチ方法、受診後のフォロー体制の見直しなど、より効果的な支援方法が課題である。

(5) 学生定期健康診断 Web 健康調査

①回答者数・回答率（両キャンパス）

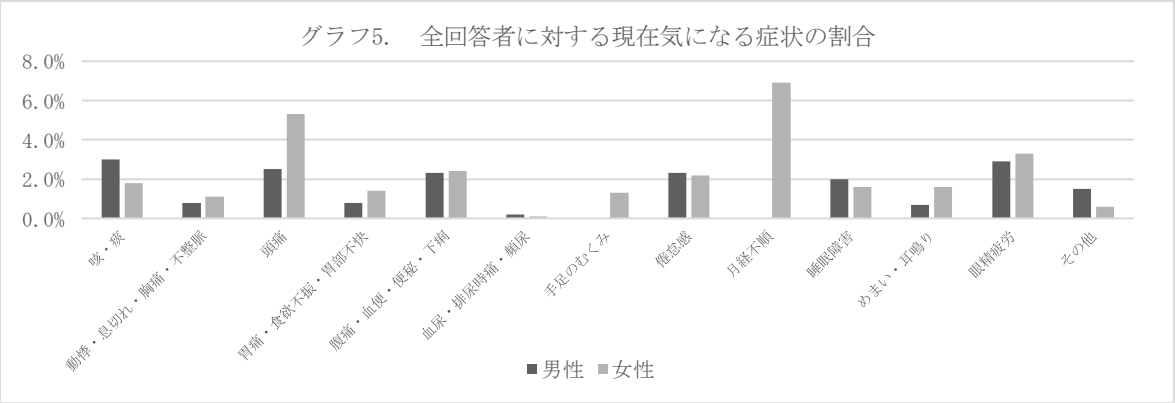
対象者数：2025/5/1 現在　受診者数:2025/9/30 現在

		1年生	2年生	3年生	4年生	大学院生	専門職大学院	大学合計	科目等履修生	交換留学生
青山キャンパス	学生数	3468	3614	3406	3708	406	441	15043	73	125
	回答者数	1888	1930	1559	1502	237	216	7332	8	50
	回答率	54.4%	53.4%	45.8%	40.5%	58.4%	49.0%	48.7%	11.0%	40.0%
相模原キャンパス	学生数	1388	1446	1623	1398	617	−	6472	−	24
	回答者数	921	1046	903	752	398	−	4020	−	23
	回答率	66.4%	72.3%	55.6%	53.8%	64.5%	−	62.1%	−	95.8%
合　計	学生数	4856	5060	5029	5106	1023	441	21515	73	149
	回答者数	2809	2976	2462	2254	635	216	11352	8	73
	回答率	57.8%	58.8%	49.0%	44.1%	62.1%	49.0%	52.8%	11.0%	49.0%

※Web 回答期間：在校生 2025 年 3 月 3 日～16 日、3 月 31 日～4 月 15 日、新入生 2025 年 4 月 1 日～15 日

※指定期間内に Web 回答しなかった学生：書面にて保健管理センターに提出

②Web 健康調査回答結果からみる学生の自覚症状の傾向（両キャンパス）

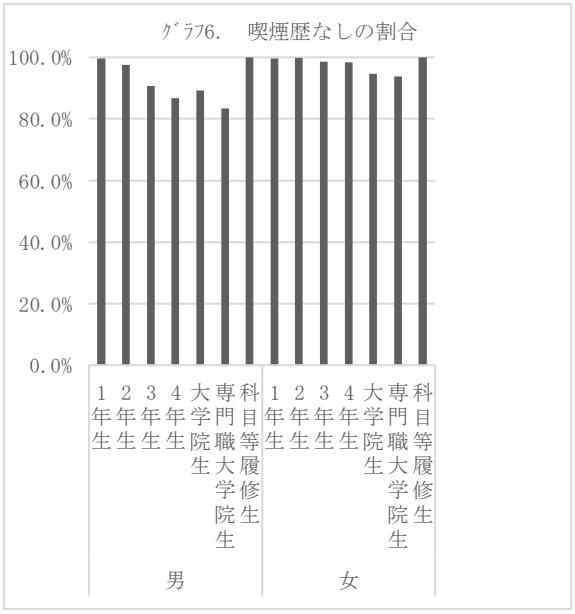


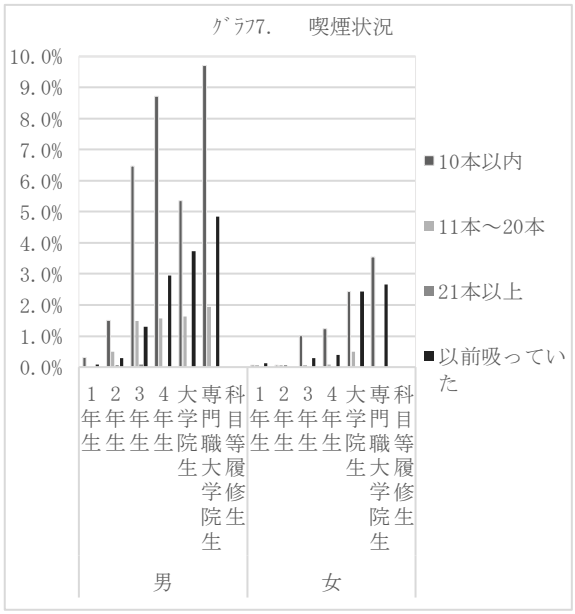
学生の自覚症状については、グラフ５に示すとおりである。男性では、「咳・痰」「眼精疲労」「頭痛」「腹痛・血便・便秘・下痢」「倦怠感」「睡眠障害」の順に自覚症状を有する学生が多かった。一方、女性では、「月経不順」「頭痛」「眼精疲労」「腹痛・血便・便秘・下痢」の順で多く認められた。前年度と比較すると、男性では「咳・痰」、女性では「腹痛・血便・便秘・下痢」といった症状の訴えに増加傾向がみられた。一方、「眼精疲労」については依然として高い割合で認められるものの、2024 年度と比較して男性で 0.9%、女性で 1.1%の減少がみられた。

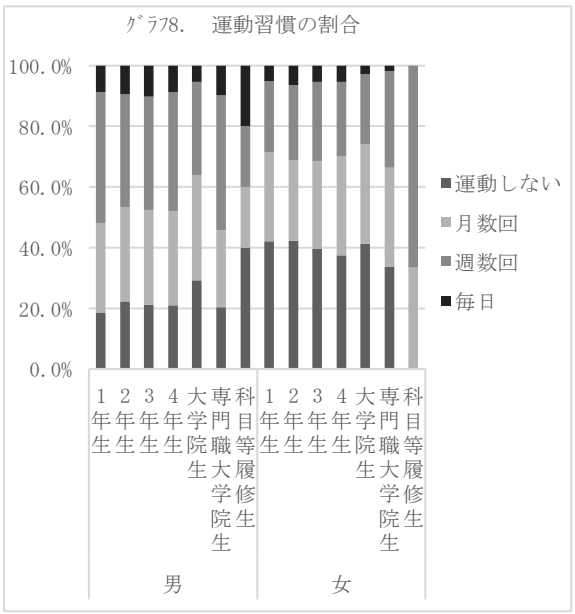
今後も、これらの自覚症状の出現状況およびその推移を継続的に把握するとともに、実態に即した健康教育および支援の充実を図り、学生の健康保持・増進に努めていく必要がある。

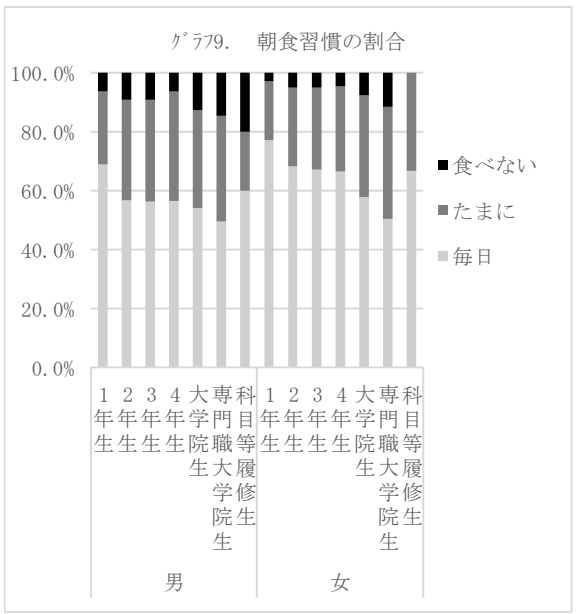
③学生の生活習慣

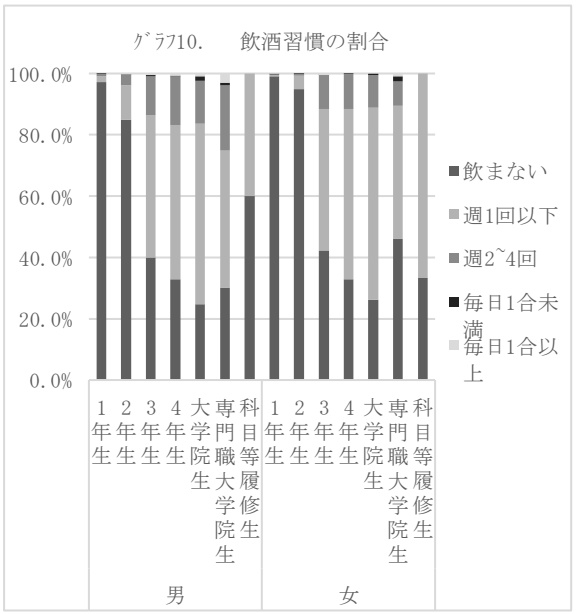
生活習慣の傾向をグラフ 6―11 に示す。

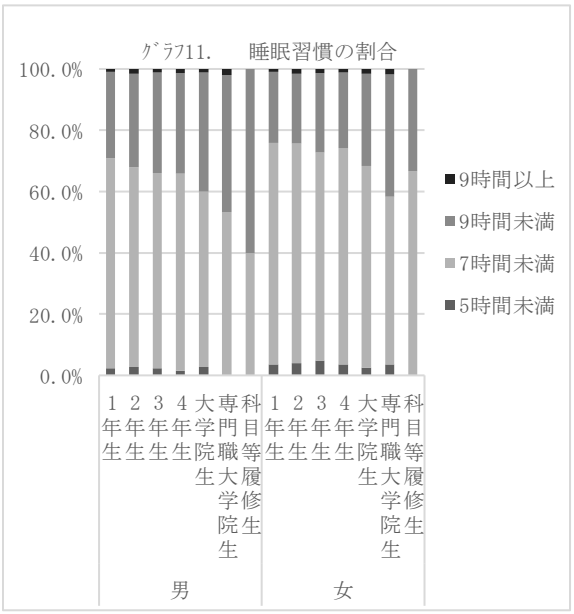












【喫煙習慣】
喫煙率は男性 4.9%(前年度 5.0%)、女性 0.8%(前年度 0.8%)であった。前年度と比較すると、男性では 0.1%減少し、女性は横ばいであった。「学生の健康白書 2021」における全国大学（4 年制）の学生の喫煙率（男性 4.4%、女性 1.3%）と比較すると、本学では男性の喫煙率が引き続き高い傾向にある。

【運動習慣】
運動習慣率は男性 78.5%(前年度 77.2%)、女性 59.6%(前年度 59.6%)であった。前年度と比較すると、男性は 1.3%上昇し、女性は横ばいであった。「学生の健康白書 2021」における全国大学（4 年制）の運動習慣率（男性 69.2%、女性 54.6%）と比較すると、本学学生の運動習慣率は男女ともに高い水準にある。

【朝食習慣】
毎日朝食を摂取する割合は男性 54.1%(前年度 58.9%)、女性 60.9%(前年度 70.1%)であった。前年度と比較すると、男女ともに減少が認められた。「学生の健康白書 2021」における全国大学（4 年制）の学生の毎日摂取率（男性 50.8%、女性 61.4%）と比較すると、本学学生の男性は高いものの、女性はやや下回る結果であった。

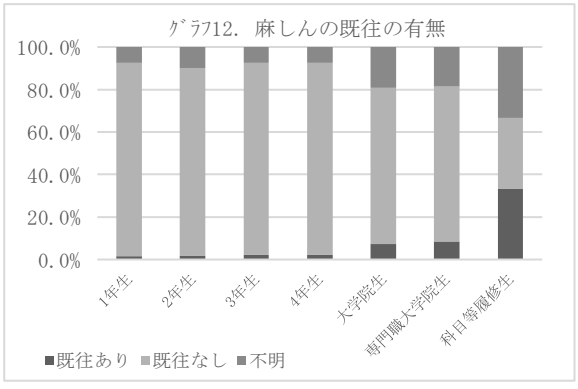
【飲酒習慣】
飲酒率は男性 36.8%(前年度 37.8%)、女性 32.4%(前年度 32.8%)であった。前年度と比較すると、男女ともに低下がみられた。しかし、「学生の健康白書 2021」における全国大学（4 年制）の学生の飲酒率（男性 30.8%、女性 28.8%）と比較すると、本学学生の飲酒率は依然として高い傾向にある。

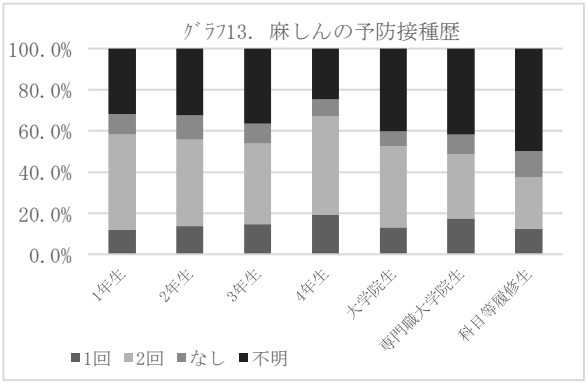
【睡眠習慣】
本学学生の睡眠時間は、いずれの学年においても 5～7 時間未満が最も多い傾向にあった。平均睡眠時間の算出は行っていないが、「学生の健康白書 2021」における全国大学（4 年制）による全国平均は男女ともに 6.6 時間とされていることから、本学学生の睡眠習慣は全国と概ね同程度であると考えられる。

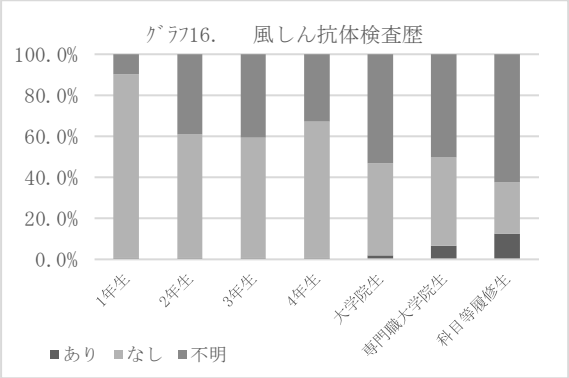
以上より、本学学生の生活習慣は、運動習慣については男女ともに全国と比較して良好な状況にある。一方、朝食摂取率は低下傾向にあり、特に女性では全国を下回る結果となった。

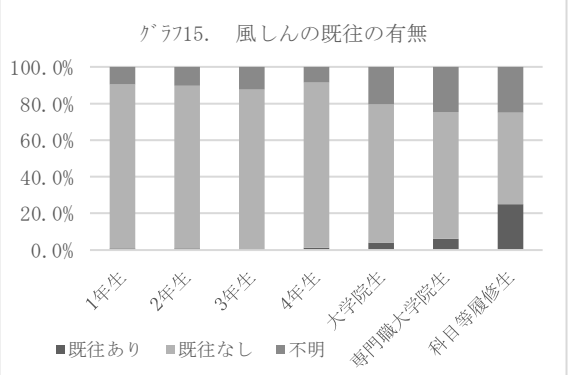
また、男性の喫煙習慣および男女の飲酒習慣については、全国と比較して依然として高い水準にあることから、本学学生の特徴を踏まえた健康教育および生活習慣改善に向けた取り組みのさらなる強化が求められる。

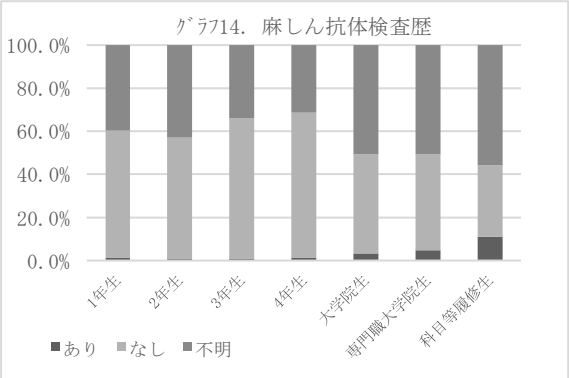
④麻しん・風しんについて

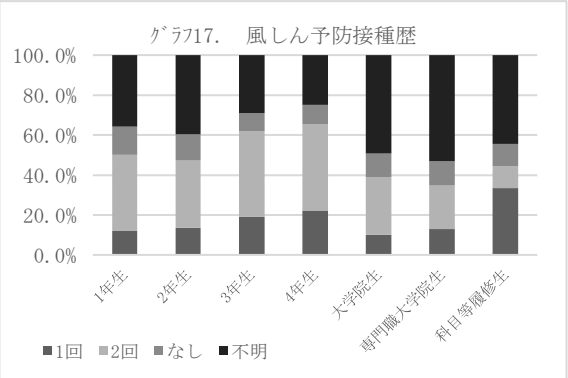












麻しんおよび風しんの状況については、グラフ 12～17 に示した。麻しんの既往がある学生は 1.7%であり、予防接種歴は 1 回接種 14.5%、2 回接種 42.6%、不明 31.9%であった。風しんについては、既往のある学生は 1.2%であり、予防接種歴は 1 回接種 13.6%、2 回接種 39.7%、不明 34.6%であった。麻しん・風しんともに既往歴および接種歴は前年度と比較して大きな変化はみられず、いずれも厚生労働省が示す接種目標である 95%には達していない状況であった。一方で、予防接種歴について「不明」と回答した学生がいずれも 3 割以上を占めている点には留意が必要である。これは、接種時期が主として小学校就学前であり、母子手帳を確認しなければ正確な接種歴の把握が困難であることから、実態との乖離が生じている可能性が考えられる。

また、免疫のない女性が妊娠初期に風しんに罹患した場合、胎児に先天性風しん症候群を引き起こす可能性がある。このため、男女を問わず、将来的に妊娠・出産といったライフイベントを迎える学生にとって、麻しん・風しん対策は重要な健康課題の一つである。今後は、予防接種の必要性に関する啓発活動に加え、接種歴の記録確認の促進や、接種歴が不明で必要と判断される場合には抗体価検査のため医療機関の受診を促すなど、より実効性のある対策の推進が重要であると考えられる。

(6) 感染症罹患報告者数

① 学校において予防すべき感染症

青山キャンパス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
COVID-19	9	7	3	17	0	3	14	5	1	2	0	1	62
インフルエンザ	8	3	0	1	0	2	165	157	77	44	0	0	457
水痘	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
流行性角結膜炎	0	1	0	0	0	11	2	0	0	0	0	0	14
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
感染性胃腸炎	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
百日咳	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	17	14	3	21	0	16	183	164	78	47	0	1	544

相模原キャンパス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
COVID-19	2	3	3	7	0	0	2	1	0	0	0	0	18
インフルエンザ	3	1	1	0	0	1	23	100	30	33	1	0	193
水痘	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
流行性角結膜炎	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	5
感染性胃腸炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	6	4	7	0	5	25	101	30	35	1	0	220

本年度の感染症発生状況については、両キャンパスともにインフルエンザが最も多く、全体の大半を占めた。特に、秋季から冬季（10月～1月）にかけて発生件数が集中しており、季節性の影響が顕著であった。一方、COVID-19については年間を通じて散発的な発生にとどまり、顕著な流行は認められなかった。その他の感染症についても発生件数は限定的であり、全体として大規模な集団感染は発生せず、概ね安定した状況で推移した。なお、流行性角結膜炎については部活動内において集団発生した事例が認められた。発生確認後は、関係者への注意喚起および活動調整を実施し、感染拡大防止に努めた結果、発生は限定的な範囲に抑制された。

(7) 学生の休学者・退学者数

休学・退学事由		青山キャンパス	相模原キャンパス	合計
病気療養による休学者数	精神疾患	63	15	78
	内科疾患・その他疾患	9	3	12
	合計	72	18	90
病気療養による退学者数	精神疾患	3	0	3
	内科疾患・その他疾患	2	0	2
	合計	5	0	5
死亡退学者数		2	0	2

全休学者に占める病気療養による休学者の割合は8.7%であり、前年度と比較して0.4%減少した。特に相模原キャンパスでは、病気療養を理由とする休学者の割合が前年度より4.1%減少している。また、全退学者に占める病気を理由とした退学者の割合は3.9%であり、前年度と比べて0.3%の減少が認められた。このように、病気療養を理由とした休学・退学者数はいずれも減少傾向にある。しかしながら、休学に至る前段階や復学後において、学生が安心して学生生活を送ることができる支援体制の重要性は依然として高い。そのため、気軽に相談できる窓口としての保健管理センターの役割や機能について、引き続き周知を強化するとともに、早期介入および継続的なフォロー体制の充実を図っていく必要がある。

３．教職員健康診断・産業保健

(1) 教職員定期健康診断　項目別受診率（キャンパス別）

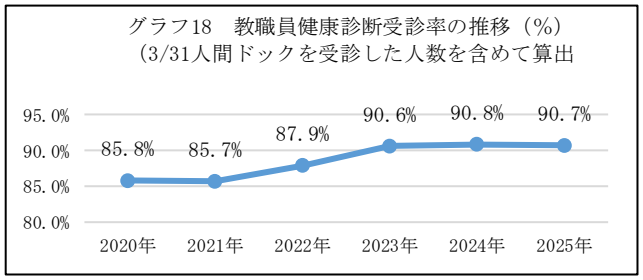
＊総対象者数は、2025年9月1日付データをカウント。項目別受診者数は、定期健康診断+フォローアップ健診(2025年10月8日～2026年2月13日)受診者をカウント。人間ドック受診者数は2026年3月31日までに提出済みの人間ドック受診者数をカウント

青山キャンパス

所属	総対象者数	受診者数	人間ドック受診者数	受診率%	項目別受診者数（人間ドックを含まない）											
					レントゲン	心電図	血圧	尿	血液	視力	聴力	計測	腹囲	免疫学的便潜血反応	肝炎ウィルス検査	生活調査
大学本務教員	407	295	63	88	294	253	295	294	285	295	295	295	253	233	20	295
大学兼務教員	1	1	0	100	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1
本部･大学本務職員	368	289	51	92.4	281	177	289	287	269	289	289	289	177	163	23	289
本部･大学兼務職員	76	62	11	96.1	61	44	62	61	54	62	62	62	44	41	14	62
幼稚園･本務兼務教職員	16	14	2	100	13	9	14	14	13	14	14	14	9	9	0	14
合　計	868	661	127	90.8	651	484	661	657	622	661	661	661	484	447	57	660
有所見者数					24	62	108	14	345	41	34	223	143	12	15	

相模原キャンパス

所属	総対象者数	受診者数	人間ドック受診者数	受診率%	項目別受診者数（人間ドックを含まない）											
					レントゲン	心電図	血圧	尿	血液	視力	聴力	計測	腹囲	免疫学的便潜血反応	肝炎ウィルス検査	生活調査
大学本務教員	254	203	32	92.5	202	154	203	201	171	203	202	203	152	144	9	203
大学兼務教員	2	1	0	50.0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1
本部･大学本務職員	100	82	16	98.0	81	64	82	82	74	82	82	82	64	60	7	82
本部･大学兼務職員	51	46	3	96.1	45	42	46	46	44	46	46	46	42	41	15	46
合　計	407	332	51	94.1	329	261	332	330	290	332	331	332	259	245	31	332
有所見者数					21	22	29	19	185	12	26	117	99	8	4	



学内における教職員定期健康診断は、2025年9月24日から9月27日にかけて実施した。これに加え、定期健康診断を受診できなかった教職員に対しては、期間内であれば自己負担なく指定医療機関で受診可能なフォローアップ健康診断を、2025年10月8日から2026年2月13日までの期間に実施した。また、近年、学院として未受診者への受診勧奨等、受診率向上に向けた取組を強化してきた結果、受診率は90.7%となり、2023年度以降は90%台で推移している。一方で、複数回にわたる受診勧奨にもかかわらず、未受診者が一定数存在している。法令遵守の観点からも、引き続き受診率のさらなる向上に向けた働きかけを継続していく必要がある。

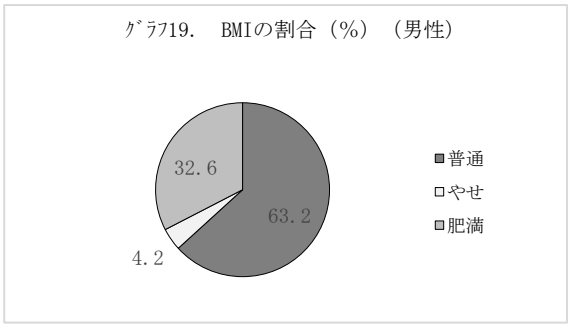
(2) 教職員定期健康診断　有所見者の経過（全キャンパス）

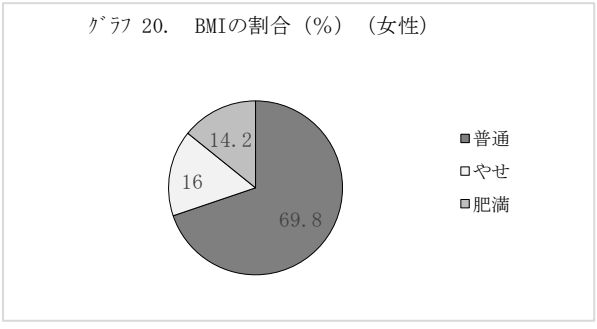
	有所見者数（実人数）	有所見率	有所見者の経過　※血液検査は延べ人数			受診結果未報告（実人数）	未来室（実人数）
			問題なし	要経過観察	要治療又は治療中		
胸部ﾚﾝﾄｹﾞﾝ	45	4.6%	4	37	1	2	1
心電図	84	11.3%	0	72	11	1	0
血　圧	137	13.8%	5	36	40	17	39
尿検査	33	3.3%	5	8	10	3	7
血液検査	530	58.1%	脂質 65 肝機能 8 耐糖能 30 貧血 25 白血球 0 腎機能 14 尿酸 0	脂質 89 肝機能 83 耐糖能 17 貧血 30 白血球 17 腎機能 5 尿酸 8	脂質 43 肝機能 3 耐糖能 15 貧血 14 白血球 0 腎機能 7 尿酸 2	39	96
肝炎ｳｨﾙｽ検査	19	21.6%	19	0	0	0	0
免疫学的便潜血反応	20	2.9%	4	4	4	6	2

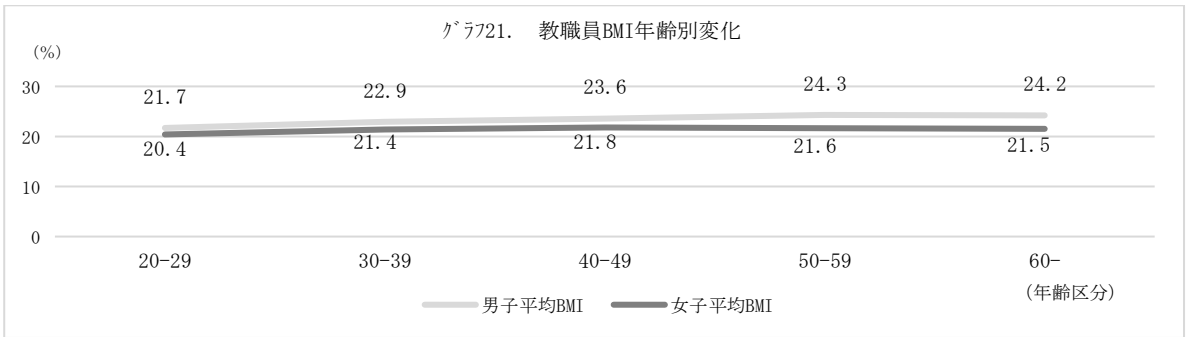
教職員健康診断においては、各キャンパスで委託業者が異なるため、項目によって有所見の判定基準に若干の差異が認められる。有所見者数は実人数で集計している一方、有所見者の経過については、血液検査において複数項目で有所見となる者が存在することから、延べ人数で示している。検査項目別の有所見率をみると、血液検査における有所見率が 58.1%と最も高かった。特に脂質異常症・肝機能障害・耐糖能異常などの生活習慣病に関連する項目において要経過観察者が多く、例年と同様の傾向が認められた。今後とも、生活習慣病の予防および改善を目的として、健康診断後の保健指導や医療機関受診の推奨に加え、集団健康教育を継続的に実施し、教職員の健康管理の充実を図っていく必要がある。

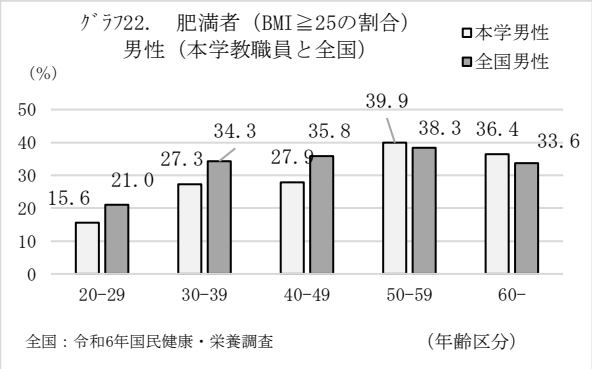
(3) 教職員の身体状況（肥満とやせ）

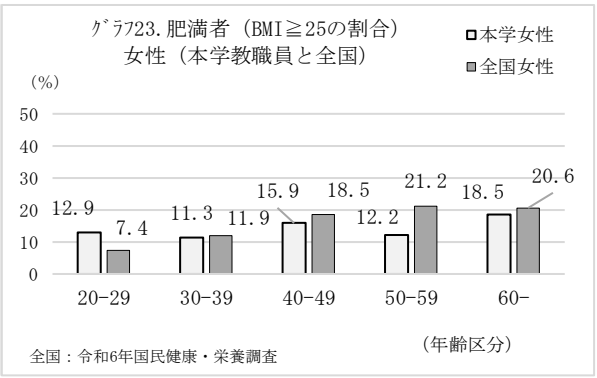
本学:教職員健康診断受診者　男子574人、女子500人より算出(2026年1月13日現在)

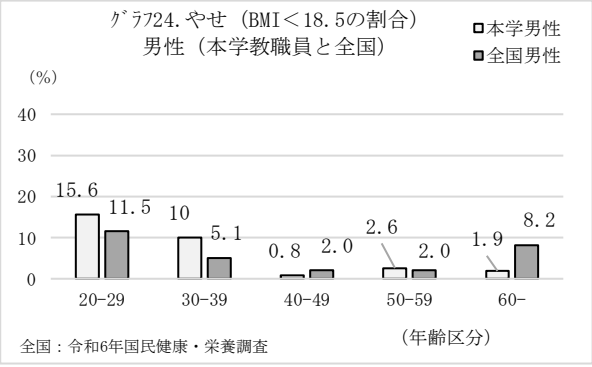


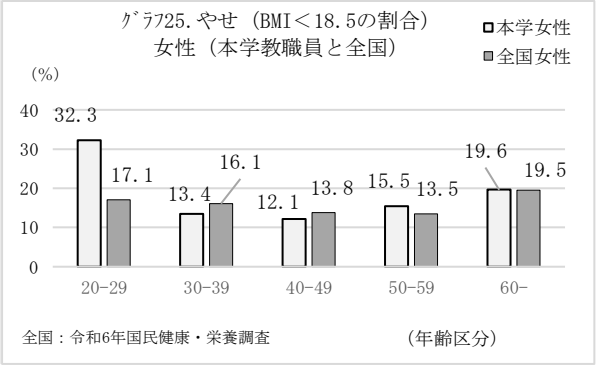












教職員の体格指数（BMI）の割合は、男性では肥満が 32.6%(前年度 31.2%)、やせが 4.2%(前年度 4.2%)、女性では肥満が 14.2%(前年度 11.6%)、やせが 16.0%(前年度 17.4%)であった。前年度と比較すると、肥満は男性で 1.4%、女性で 2.6%増加しており、やせについては男性で変化はなく、女性では 1.4%減少した。すなわち、男性では肥満の増加、女性では肥満の増加およびやせの減少が認められた。

令和 6 年「国民健康・栄養調査」と比較すると、肥満については例年同様、50 代以上の男性で全国平均を上回る傾向が認められた。一方、女性の肥満割合は、20 代を除く各年代において全国平均を下回っていた。やせについては、男性では 20 代および 30 代で全国平均を上回り、女性では 20 代・50 代・60 代で全国平均を上回る結果であった。肥満およびやせはいずれも運動習慣や食習慣などの生活習慣と関連が深いことから、今後も生活習慣の改善および疾病予防につながる保健指導や健康教育を継続的に実施し、教職員の健康管理の向上を図っていく必要がある。

(4) 保健指導

健康診断後の事後措置として、医師面談や医療機関受診の推奨とあわせて、結果通知時に保健指導の案内を行っている。しかしながら、例年、自主的に保健指導を希望する教職員は少なく、課題となっている。対象者に対しては、個別にメールや案内を送付するなど来室を促す取組を実施したが、保健指導実施者の増加には至らなかった。今後は、対象者が自身の生活習慣を振り返り、健康への関心を高める機会を提供するとともに、行動変容につながる支援の充実が求められる。そのため、利用しやすい仕組みづくりや効果的な介入方法について見直しを行い、より実効性の高い取組を推進していく必要がある。

(5) 教職員の休職・復職者数（対象：学院全体)　※2025 年度内に休職期間がある者及び復職した者の延べ人数

休職･復職事由	青山キャンパス		相模原キャンパス	
	休職（再休職※１）	復職	休職（再休職※１）	復職
精神的疾患	8 (0)	5	2 (0)	0
身体的疾患	4 (0)	1	1 (0)	0
合計	12 (0)	6	3 (0)	0

※１：再休職の定義　復職日から１年 10 カ月を経過するまでの間に療養することとなった場合

上記は、本学の療養休職規則に基づき、2025 年度内に休職または復職の発令がなされた教職員について、その人数を集計したものである。全教職員（設置学校を含む）に占める休職者の割合は1.1%であり、前年度の 1.4%と比較して大きな変動はなく、概ね同水準で推移している。なお、本年度は休職者 15 名のうち 6 名が復職している。長期療養を要した教職員については、復職時に復職支援プログラムを適用し、関係部署と連携のもと段階的に就業を再開することで、円滑な復職につながるケースが多く認められた。また、本表には反映されていないが、休職発令に至る前の休業段階にある教職員に対しても、復職を見据えた支援を実施している。さらに、復職後の職場定着を図るため、定期的な産業医面談および保健師・看護師によるフォローを継続するとともに、人事部門および所属長と連携し、職場環境の調整や就業上の配慮を行うなど、包括的なフォローアップ体制を整備している。今後も、復職後の定着率向上および再休職の予防に向け、関係部署との連携を強化しながら支援体制の充実を図っていく必要がある。

(6) 長時間労働者への産業医による面接

過重労働による健康障害の防止を目的として、労働安全衛生法に基づき、長時間労働に該当する事務職員に対して、産業医による面接指導を実施している。

【面接指導対象者、及び指導項目】

法定外労働時間（月）	疲労度チェック※1	産業医面接
法定外労働時間 70 時間越え	○	必須
法定外労働時間 60 時間越え	○	考慮※2

※1：対象者に対しては産業保健スタッフよりメールにて回答方法を案内。

※2：本人の面談希望、疲労度チェック（厚生労働省推奨）の結果、健康診断などにより産業医が実施について判断。

面接指導対象者数

月 / 対象者･指導項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
法定外労働時間 70 時間超え対象者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4
法定外労働時間 60 時間超え対象者数	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	7
疲労度チェック回答数	1	2	1	0	0	0	0	0	0	4	2	1	11
医師面談数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4

昨年度において法定外労働時間 70 時間を超えた者は 5 名であったのに対し、今年度は 4 名であった。また、60 時間を超えた者は延べ 7 名であり、昨年度と同数であった。これらの該当者については、年間行事に伴う繁忙期の影響により、特定の部署に集中して発生しているケースが多くみられた。該当者に対しては、所属長および人事部が労働状況を把握し、業務調整等の対策を講じるとともに、健康面への配慮として、産業医による面接指導の案内を行い、状況に応じた体調確認を実施している。今後も、所属長および人事部と連携しながら、長時間労働に起因する脳・心臓疾患やメンタルヘルス不調の早期発見に努めるとともに、早期対応を図っていく必要がある。

(7) ストレスチェック受検率に関する報告（対象：学院全体）

2014 年の労働安全衛生法の改正により、従業員のストレスチェックが事業者に対し義務付けられた。本学では 2016 年度から実施し、今回 10 回目の実施となった。

【実施期間】2025 年 11 月 6 日（木）～11 月 27 日（木）
【対　　象】定期健康診断対象者で 2025 年 10 月 1 日時点在籍の教職員
（幼稚園・初等部・中等部・高等部の教職員を含む）
【実施方法】ティーペック（株）ストレスチェック web システムを採用（若干名、紙受検者あり）
【周知方法】教職員ポータル、学部長会、教授会、事務連絡会等

年度	対象人数	受検人数	受検率（%）
2025 年度	1444	1087	75.3
2024 年度	1438	1090	75.8
2023 年度	1448	1093	75.5
2022 年度	1480	1187	80.2
2021 年度	1484	1117	75.3
2020 年度	1487	1122	75.5
2019 年度	1520	1047	68.9
2018 年度	1508	1006	66.7

2025 年度ストレスチェックの受検率は 75.3%であり、前年度と比較して約 0.5%減少したものの、概ね横ばいで推移している。受検率の推移をみると、COVID-19 の影響下にあった 2022 年度は教員の受検率上昇により 80.2%まで向上したが、5 類感染症への移行以降の 2023 年度以降は、対面授業の再開に伴う業務量の増加等を背景として、受検率が低下した可能性が考えられる。2025 年度においても同様の傾向が認められた。このことから、今後も受検案内の周知や受検促進に向けた取組について、継続的に検討および工夫が求められる。

ストレスチェック結果の分析では、学院全体として多くの項目で改善傾向が認められた。特に、これまで低い水準で推移していた仕事の負担（量）についても改善がみられたほか、多くの職場においてチームワークや仕事への意欲が良好であるとの結果が得られた。集団分析結果については、基幹部署を通じて所属長へフィードバックされているが、今後は当該結果を踏まえた具体的な改善行動の促進を図るなど、より一層の職場環境向上に向けた取組を推進していく必要がある。

4．集団健康教育

	健康教育テーマ	実施日	講師・実施方法場所	対象者・参加人数
禁煙	世界禁煙デーイベント in 青山学院大学青山キャンパス CO チェッカーによる CO 濃度測定/ポスター・模型掲示/リーフレット配布/ニコチン依存度チェック	5/29	2 号館前中庭（喫煙所横）	学生 95 名、教職員 6 名、その他 4 名
運動	ウォーキングチャレンジ 2025 共催:　公益社団法人全国大学保健管理協会 協力：学生生活部学生生活課、青山学院大学新聞編集委員会	11/1-11/30		学生 84 名・教職員 70 名 その他 18 名
食事	健康献立レシピコンテスト 連携：青山キャンパス学生食堂（株式会社アイビー・シー・エス）	6/4～6/22	17 号館食堂	学生 26 名
	「学食だより」「健康カレンダー」	毎月	栄養士作成ポータル配信	全学生・教職員
	栄養士監修弁当レシピ	毎月	栄養士作成ポータル配信	学生（青山）・教職員
BMI	夏だより「夏太りを防ぐには」	7/11	ポータル配信	BMI25 以上の学生
	冬だより「Happy Holiday のすごし方」	12/10	ポータル配信	BMI25 以上の学生
自殺予防	ゲートキーパー養成講座 ～身近な人の SOS に気づいたら～ 主催：渋谷区保健所 連携：大学保健管理センター、NPO 法人ゲートキーパーTONARINO	10/9	NPO 法人ゲートキーパーTONARINO 理事長　森本美花氏（14 号館 18 会議室）	全学生 11 名・教職員 5 名

女性の健康	＃One More Choice プロジェクト：ヘルスサポート （産婦人科専門医への無料健康相談） 連携：株式会社ツムラ	12/3	宮益坂リーディースクリニック 長岡美紀院長 （17404 教室）	学生　8 名
	＃One More Choice プロジェクト：＃One More Choice 研修（隠れ我慢しないグループワーク） 連携：株式会社ツムラ	12/5	ファシリテーター：ツムラ社員 （14 号館 18 会議室）	学生　3 名
熱中症対策	熱中症対策アンバサダー講座受講ご案内 連携：大塚製薬株式会社、学生生活部スポーツ支援課	5/7～9/30	オンデマンド講座	全学生・教職員対象。 199 名事前登録、126 名アンバサダー認定
	熱中症対面セミナー 主催：大塚製薬	6/12	大塚製薬社員　佐藤絵美氏 （17 号館食堂）	学生 16 名、教職員 5 名
AED	AED 講習会 連携：学生生活部スポーツ支援課	4/30. 5/27. 6/ 4. 6. 18. 26. 30 7/16. 17. 29 10/14. 20. 28 11/5. 6. 26. 27 12/1	学生（短大体育館地下一階プレイルーム） 職員（各部署）	学生 39 名 職員 188 名
	AED 動画作成 協力：学術情報部外国語ラボラトリー、学生生活部学生生活課、 大学政策・企画部大学広報課	9/27	オンライン	視聴回数 281 回
プレコンセプションケア	プレコンセプションケア啓発イベント ～プレコンってなあに？～ プレコンノート、カロリーメイトゼリーなどの配布/ポスター掲示/助産師の相談窓口（11/14 のみ） 協賛：大塚製薬株式会社、渋谷保健所、 連携：学生生活部	11/14. 26. 27 12/1	相談員：外部委託助産師 山田　ひろみ氏	学生：189 名 教職員・その他：11 名
飲酒教育	飲む人も飲まない人も知っておきたいお酒との付き合い方 アルコールパッチテスト/飲酒に関するマナーや正しい知識の講座/川柳コンテスト表彰式 主催：青山学院大学　学生生活部　連携：一般社団法人渋谷未来デザイン、アサヒビール株式会社、スマドリ株式会社、経営学部　竹田賢ゼミナール	12/11	株式会社アサヒビールコミュニケーションズ　品川氏 （17 号館食堂）	学生・教職員 53 名
健康情報	健康情報ポータルサイト　Pep　Up のご案内	9 月	ポスター掲示：青山キャンパス教職員健診会場	教職員・私学共済加入者
	体験型健康啓発（体組成計測定体験、筋活・骨活、生活習慣予防～脂質編） 体組成計測定、握力テスト、30 秒椅子立ち上がりテスト、動脈硬化血管イメージモデル展示、各種ポスター掲示	9/24-9/26	保健師・看護師作成 相模原キャンパス教職員健診会場・相模原保健センター前	教職員 28 名
	健康だより 新生活の健康管理(4 月号)/　熱中症対策(5 月号)慢性頭痛(6 月号)/夏に多いケガ(7 月号)/夏休みの過ごし方(8 月号)/こころの健康(9 月号) 月経トラブル(10 月号)/運動(11 月号)/適正飲酒(12 月号) 免疫力アップ・感染予防(1 月号)/花粉・アレルギー(2 月号)/健康診断(3 月号)	毎月	ポータル配信	全学生
	健康カレンダー 2026 健康カレンダー：ロコモ対策カレンダー	12 月	ポータル配信	全学生・教職員
教職員のための健康オンラインセミナー	①最新！認知症を正しく理解する ②血液内科医が血球から診る病気のサイン ③その動悸、大丈夫？心臓のリズムと不整脈の話 ④長引く咳の原因は？	11/12 11/18 11/28 12/4	保健センター嘱託医（オンライン） 保健センター嘱託医（オンライン） 保健センター嘱託医（オンライン） 保健センター嘱託医（オンライン） *オンライン実施後、教職員ポータルにてアーカイブ配信	教職員（22 名、録画視聴 33 回） 教職員（15 名、録画視聴 18 回） 教職員（14 名、録画視聴 16 回） 教職員（14 名、録画視聴 15 回）
ロコモティブシンドローム予防	ロコモティブシンドローム予防教育 （ロコモ度測定①握力テスト②30 秒椅子立ち上がりテスト③閉眼片脚立ちテスト、ロコモ啓発動画、啓発ポスター掲示）	9/25. 9/26. 9/29. 9/30	教職員健康診断会場	教職員 122 名
特定保健指導	特定保健指導のご案内	9 月	ポスター掲示：青山キャンパス教職員健診会場	教職員・私学共済加入者

本学では、学生の学年進行に伴う喫煙率の上昇傾向を踏まえ、昨年度に引き続き禁煙に関する健康教育イベントを実施した。今年度は CO 濃度測定会やタール瓶の展示、啓発ポスターの掲示等を喫煙所付近で実施することで、喫煙者へ直接的にアプローチする機会を確保した。その結果、健康リスクへの関心や禁煙意向、新型たばこの利用状況など、学生の実態把握につながる有益な機会となった。今後も正確な情報提供を行い、学生がメリット・デメリットを適切に理解した上で主体的に意思決定できるよう支援していく必要がある。

運動面に関しては、全国大学保健管理協会主催のウォーキングイベントに昨年度に続き参加し、身体活動の定着を促した。参加者数は前年度の約 2 倍に増加し、平均歩数の向上も認められるなど、健康づくりへの関心の高まりが確認された。

また、女性の健康および熱中症対策については、企業との連携により継続的に取り組んでいる。本学の健康調査においては「月経不順」が例年多く認められており、加えて熱中症対策は社会的にも重要な課題である。企業と協働することで、最新の知見やエビデンスに基づく教育を提供することが可能となり、学生が社会で求められるヘルスリテラシーを身につける機会となっている。参加者数も増加傾向に

あり、今後も継続することで、より効果的な健康教育の展開が期待される。

さらに今年度は、自殺予防、AED、プレコンセプションケア、飲酒教育、ロコモティブシンドローム予防の５つの新規健康教育を実施し、学生および教職員の多様な健康課題に対応した。これらの取り組みは、それぞれ異なる分野を扱いながらも相互に補完し合い、学内の健康支援体制の強化に寄与している。また、他部署やゼミ学生、企業との連携により、多角的な視点からの介入が可能となった点も大きな成果である。

これら一連の活動を通じて、学生および教職員のヘルスリテラシー向上と、健康行動に対する前向きな変化がみられた。今後は、本年度の成果と課題を踏まえながら、健康教育の内容の充実と支援体制のさらなる強化を図り、誰もが安心して学び、働くことのできる環境づくりを推進していく。

５．その他の法定健康診断

(1) 特殊健康診断（相模原キャンパス）

①特殊健康診断実施者数

(2026年3月31日現在)

		対象者数			受診者数			受診率		
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計
春期	特殊健康診断	36	286	322	36	286	322	100.0%	100.0%	100.0%
内訳	電離放射線	34	242	276	34	242	276	100.0%	100.0%	100.0%
内訳	有機溶剤	6	－	6	6	－	6	100.0%	－	100.0%
内訳	特定化学物質	7	－	7	7	－	7	100.0%	－	100.0%
内訳	有機溶剤･特化物	－	86	86	－	86	86	－	100.0%	100.0%
秋期	特殊健康診断	35	－	35	35	－	35	100.0%	－	100.0%
内訳	電離放射線	34	－	34	34	－	34	100.0%	－	100.0%
内訳	有機溶剤	6	－	6	6	－	6	100.0%	－	100.0%
内訳	特定化学物質	6	－	6	6	－	6	100.0%	－	100.0%
内訳	有機溶剤･特化物	－	－	－	－	－	－	－	－	－

②電離放射線健康診断結果

(2026年3月31日現在)

		実施者数		有所見者数		有所見率		所見あるも問題なし (ハ)		経過観察(人)		再検査(人)		病院受診(人)	
		教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生
春期	白血球数･白血球百分率	34	242	9	56	26.5	23.1	9	56	0	0	0	0	0	0
春期	赤血球数･血色素量･ヘマトクリット値	34	242	3	18	8.8	7.4	3	17	0	0	0	0	0	1
春期	白内障に関する眼の検査	34	242	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
春期	皮膚の検査	34	242	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
春期	自覚症状	34	242	0	4	0.0	1.7	0	4	0	0	0	0	0	0
春期	電離放射線使用による健康障害	34	242	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋期	白血球数･白血球百分率	34	－	11	－	32.4	－	11	－	0	－	0	－	0	－
秋期	赤血球数･血色素量･ヘマトクリット値	34	－	3	－	8.8	－	3	－	0	－	0	－	0	－
秋期	白内障に関する眼の検査	34	－	0	－	0.0	－	0	－	0	－	0	－	0	－
秋期	皮膚の検査	34	－	0	－	0.0	－	0	－	0	－	0	－	0	－
秋期	自覚症状	34	－	4	－	11.8	－	4	－	0	－	0	－	0	－
秋期	電離放射線使用による健康障害	34	－	0	－	0.0	－	0	－	0	－	0	－	0	－

③有機溶剤健康診断結果

※学生は特定化学物質健康診断の結果も兼ねて集計　　(2026年3月31日現在)

		実施者数		有所見者数		有所見率		所見あるも問題なし(内)		経過観察(人)		再検査(人)		病院受診(人)	
		教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生
春期	作業条件の簡易な調査	6	86	3	27	50.0	31.4	−	−	−	−	−	−	−	−
	赤血球数・血色素量	−	86	−	2	−	2.3	−	2	−	0	−	0	−	0
	肝機能検査	1	86	0	2	0.0	2.3	0	2	0	0	0	0	0	0
	尿代謝物検査	2	−	0	−	0.0	−	0	−	0	−	0	−	0	−
	自覚症状	6	86	0	5	0.0	5.8	0	5	0	0	0	0	0	0
	他覚症状	6	86	0	2	0.0	2.3	0	2	0	0	0	0	0	0
	有機溶剤による健康障害	6	86	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋期	作業条件の簡易な調査	6	−	1	−	16.7	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	赤血球数・血色素量	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
	肝機能検査	1	−	0	−	0.0	−	0	−	0	−	0	−	0	−
	尿代謝物検査	2	−	0	−	0.0	−	0	−	0	−	0	−	0	−
	自覚症状	6	−	0	−	0.0	−	0	−	0	−	0	−	0	−
	他覚症状	6	−	0	−	0.0	−	0	−	0	−	0	−	0	−
	有機溶剤による健康障害	6	−	0	−	0.0	−	0	−	0	−	0	−	0	−

④特定化学物質健康診断結果　　(2026年3月31日現在)

		実施者数	有所見者数	有所見率	所見あるも問題なし(人)	経過観察(人)	再検査(人)	病院受診(人)
		教職員	教職員	教職員	教職員	教職員	教職員	教職員
春期	作業条件の簡易な調査	7	3	42.9	−	−	−	−
	自覚症状	7	0	0.0	0	0	0	0
	他覚症状	7	0	0.0	0	0	0	0
	腹部超音波（肝または脾の腫大の検査）	1	0	0.0	0	0	0	0
	尿中マンデル酸およびフェニルグリオキシル酸	1	0	0.0	0	0	0	0
	尿中β2ミクログロブリン	1	1	100.0	0	1	0	0
	胸部X線直接撮影	1	0	0.0	0	0	0	0
	白血球数・白血球分画	2	0	0.0	0	0	0	0
	赤血球数・血色素量・ﾍﾏﾄｸﾘｯﾄ値	1	0	0.0	0	0	0	0
	肝機能検査	6	4	66.7	4	0	0	0
	血中カドミウム	1	0	0.0	0	0	0	0
	握力	1	0	0.0	0	0	0	0
	鼻の検査	1	0	0.0	0	0	0	0
	皮膚の検査	5	0	0.0	0	0	0	0
	特定化学物質による健康障害	7	0	0.0	0	0	0	0
秋期	作業条件の簡易な調査	6	1	16.7	−	−	−	−
	自覚症状	6	0	0.0	0	0	0	0
	他覚症状	6	0	0.0	0	0	0	0
	尿中マンデル酸およびフェニルグリオキシル酸	1	0	0.0	0	0	0	0
	尿中β2ミクログロブリン	1	1	0.0	0	1	0	0
	胸部X線直接撮影	1	0	0.0	0	0	0	0
	白血球数・白血球分画	1	0	0.0	0	0	0	0
	肝機能検査	5	1	20.0	1	0	0	0
	血中カドミウム	1	0	0.0	0	0	0	0
	握力	1	0	0.0	0	0	0	0
	鼻の検査	1	0	0.0	0	0	0	0
	皮膚の検査	5	0	0.0	0	0	0	0
	特定化学物質による健康障害	6	0	0.0	0	0	0	0

前期・後期ともに学内で健康診断を実施した。健康診断受診率は100%であり、業務起因性を有すると判断されたケースはなかった。

(2) 雇入れ健康診断

①雇入れ時健康診断受診者数　　*外部医療機関にて実施*　(2025 年度採用月でｶｳﾝﾄ)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
本部	10	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	13
大学	69	0	2	2	0	5	11	3	0	2	1	0	94
高等部	4	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	6
中等部	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
初等部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	88	0	2	2	1	5	12	4	0	2	1	1	118

②雇入れ時健康診断有所見者の経過

検査項目	有所見者数	再検査	経過観察	病院受診	病院受診結果
胸部レントゲン	23		22	1	未報告(1)
心電図	31		29	2	異常なし(1)　未報告(1)
血圧	44		37	7	治療開始(2)かかりつけ医相談(1)未報告(4)
尿検査	5		1	4	異常なし(1)かかりつけ医相談(1)未報告(2)
血液検査	43		18	29	異常なし(6)かかりつけ医相談(脂質 3,肝機能 2)治療開始(脂質 1 貧血 1)未報告(16)

(3) 特定業務従事者健康診断

2025 年度の特定業務従事者健康診断の対象者は 5 名であり、受診率は 100%であった。有害な業務に係る歯科健康診断については、2025 年度は対象者はいなかった。なお、これらの健康診断は、春は特殊健康診断実施時に、秋は教職員定期健康診断時に併せて実施した。

6．健康診断証明書発行業務

(1) 青山キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2026 年 3 月 31 日現在)

内訳＼月			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自動発行内訳	1年生	人数	8	28	24	20	2	6	9	5	1	5	1	2	111
		枚数	8	28	25	20	2	6	9	5	1	5	1	2	112
	2年生	人数	3	7	10	10	2	0	5	2	2	3	0	0	44
		枚数	3	7	10	10	2	0	5	2	2	3	0	0	44
	3年生	人数	7	8	14	23	31	40	39	22	5	18	17	31	255
		枚数	7	8	14	23	36	42	39	23	5	24	18	40	279
	4年生	人数	46	111	55	51	28	64	31	3	9	11	14	11	434
		枚数	51	126	59	51	29	66	33	3	9	11	14	11	463
	大学院生(専門職大学院生を含む)	人数	0	9	9	2	1	0	2	2	1	3	2	5	36
		枚数	0	10	11	2	1	0	2	2	1	3	2	6	40
	科目等履修生	人数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
		枚数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
窓口発行 含英文証明書		人数	2	3	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	9
		枚数	2	3	0	0	0	2	2	0	1	0	0	0	10
合　計		人数	67	166	112	106	64	112	87	34	19	41	34	49	891
		枚数	72	182	119	106	70	116	90	35	19	47	35	59	950

(2) 相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2026年3月31日現在)

内訳＼月			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自動発行内訳	1年生	人数	2	6	3	5	1	2	4	2	0	1	0	1	27
		枚数	2	6	3	5	1	2	4	3	0	1	0	1	28
	2年生	人数	2	4	4	2	0	1	2	2	0	0	0	0	17
		枚数	2	4	4	2	0	1	2	2	0	0	0	0	17
	3年生	人数	1	3	4	7	2	14	11	8	5	6	8	23	92
		枚数	1	3	4	7	2	14	12	9	5	6	8	23	94
	4年生	人数	17	38	28	13	5	21	11	3	3	5	4	5	153
		枚数	17	39	31	13	5	21	11	3	3	5	4	5	157
	大学院生	人数	11	7	6	3	3	3	10	3	3	8	5	9	71
		枚数	11	7	6	3	3	3	10	3	3	8	6	9	72
	科目等履修生	人数	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	0
		枚数	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	0
窓口発行 含英文診断書		人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		人数	33	58	45	30	11	41	38	18	11	20	17	38	360
		枚数	33	59	48	30	11	41	39	20	11	20	18	38	368

2025年度の健康診断証明書の発行状況は、青山キャンパスで発行人数891人・発行枚数950枚、相模原キャンパスで発行人数360人・発行枚数368枚であった。学年別にみると、両キャンパスともに4年生および3年生において発行人数・発行枚数が多く、特に就職活動時期にあたる年度前半および後期初めに発行が集中する傾向が認められた。

また、健康診断証明書の主な使用用途は就職活動であり、一人当たりの平均発行枚数は、青山キャンパスで約1.1枚、相模原キャンパスで約1.0枚であった。

7．救急処置・検査等保健管理センター利用状況

(1) 青山キャンパス

(学生・教職員別利用者数)　　(2026年3月31日現在)

所属＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	男	120	151	90	67	10	23	154	104	81	52	20	11	883
	女	230	215	150	117	13	31	176	160	146	78	17	24	1357
教職員	男	29	20	24	22	7	31	41	42	30	45	24	27	342
	女	35	29	24	32	9	33	82	47	45	48	19	35	438
その他		8	10	9	9	10	10	2	7	8	10	32	16	131
合計		422	425	297	247	49	128	455	360	310	233	112	113	3151

(検査・処置等利用内容別件数)

検査処置項目＼月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	血圧	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	検尿	0	0	0	0	0	0	29	0	0	0	1	0	30
	検便	0	4	0	15	2	12	22	2	0	0	0	0	57
	血液	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	視力	20	38	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	63
	心電図	2	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	6
	計測	11	21	30	8	0	6	12	19	24	7	0	3	141
	聴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自動血圧計	90	104	119	105	29	58	84	95	67	91	30	34	906
	体脂肪計	1	12	12	0	0	0	0	8	9	0	0	0	42
処置	投薬	3	1	2	3	0	1	2	2	1	0	4	1	20
	処置	32	39	56	30	6	17	67	48	29	31	32	12	399
	ﾍﾞｯﾄﾞ休養	31	47	52	45	5	7	31	22	26	23	18	7	314
	医師面談	136	63	29	41	3	22	32	39	42	29	15	37	488
	病院紹介	31	19	8	14	0	5	11	7	7	8	2	3	115

	救急車	2	1	1	3	0	0	0	1	0	0	0	1	9
	病院搬送	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	4
	保健指導	21	19	24	2	1	0	6	32	15	3	4	2	129
	問診調査･相談	172	180	118	92	26	61	82	80	56	68	37	49	1021
	電話･メール対応	16	15	6	7	5	5	15	16	13	31	16	7	152
合計		569	565	457	367	78	194	393	373	293	293	159	158	3899

(症状・疾患別利用者数)

	月 / 症状･疾患	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
症状・所見	胃腸症状	8	9	10	7	1	5	8	7	6	6	15	1	83
	感冒	14	16	22	12	0	4	38	35	21	11	2	5	180
	頭痛	11	9	15	11	0	4	9	1	3	5	2	0	70
	体調不良	13	26	20	27	5	7	10	12	18	15	1	7	161
	生理痛	7	6	5	7	2	1	9	2	1	2	1	0	43
	外傷	14	12	20	16	3	5	22	8	5	6	7	5	123
	腰痛・筋肉痛	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	熱傷	0	0	2	0	0	2	1	5	2	0	0	0	12
	COVID-19関連	9	7	8	15	5	1	15	6	4	2	1	0	73
	その他	13	10	4	17	4	2	155	139	135	62	27	6	574
その他の疾患	皮膚疾患	3	3	5	1	0	1	1	10	2	3	0	0	29
	昆虫刺傷	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	8
	整形外科疾患	5	12	11	8	0	6	11	7	7	10	3	1	81
	眼疾患	2	2	0	1	0	1	2	0	0	1	0	1	10
	耳鼻科疾患	2	4	2	1	1	0	1	1	0	2	2	0	16
	泌尿器科疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	口腔疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神衛生	13	13	11	9	2	1	8	13	9	4	3	5	91
	合計	115	132	138	134	23	41	291	246	213	129	64	31	1557

2025年度の保健管理センター利用者数は3,151名であった。月別にみると、新学期開始時期や季節の変わり目に来室者数が増加する傾向が認められ、生活環境の変化や気候の変動が体調管理に影響を及ぼしていることが示唆された。来室者への対応内容は、軽度の体調不良や外傷、健康相談等が中心であり、重篤な症状や緊急性の高い事案は限定的であった。また、日常的な処置や経過観察を要するケースが一定数を占めており、早期対応による重症化防止の役割を果たしていると考えられる。

(2) 相模原キャンパス

(学生・教職員別利用者数)　(2026年3月31日現在)

所属 / 月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	男	121	90	52	34	4	14	31	40	38	34	6	12	476
	女	65	67	25	26	5	9	19	25	21	24	1	3	290
教職員	男	14	9	4	10	2	5	11	31	11	14	7	14	132
	女	9	3	5	6	4	9	30	19	19	11	8	10	133
その他		0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	1	6
合計		209	169	86	80	15	37	92	115	89	83	22	40	1037

(検査・処置等利用内容別件数)

	検査処置項目 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	血圧	7	6	9	13	1	2	7	4	2	1	0	1	53
	検尿	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	15
	検便	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	14
	血液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	視力	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	心電図	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	4
	計測	16	20	15	18	3	4	13	18	10	11	1	2	131
	聴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自動血圧計	65	100	107	102	9	52	79	41	55	27	2	13	652
	体組成計	24	12	41	34	4	31	21	21	32	14	4	2	240
処置	投薬	2	1	5	6	1	1	6	0	1	4	0	3	30
	処置	8	15	19	24	0	3	15	12	11	10	2	2	121
	ﾍﾞｯﾄﾞ休養	14	14	11	19	3	3	10	13	4	8	0	1	100
	医師面談	83	19	19	13	4	6	12	24	10	19	2	9	220
	病院紹介	16	11	10	4	0	2	8	12	9	9	3	3	87
	救急車	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	病院搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保健指導	2	4	19	14	0	1	2	12	29	8	0	1	92

	問診調査･相談	102	134	47	50	8	15	59	71	63	50	15	22	636
	電話･メール対応	5	3	2	1	3	10	1	3	2	6	1	6	43
合　　計		358	339	300	303	36	131	261	230	227	167	30	65	2453

（症状・疾患別利用者数）

	月 / 症状･疾患	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
症状・所見	胃腸症状	3	4	3	3	1	1	2	3	2	2	0	1	25
	感冒	2	5	8	4	1	1	6	9	5	6	0	1	48
	頭痛	2	0	3	5	2	1	0	0	2	2	0	0	17
	体調不良	11	8	6	14	1	2	5	7	2	5	1	1	63
	生理痛	0	0	1	2	0	0	3	1	0	1	0	0	8
	外傷	4	8	12	7	1	2	6	3	6	4	1	1	55
	腰痛・筋肉痛	0	2	1	0	0	0	1	0	1	2	0	0	7
	熱傷	0	2	2	1	0	0	2	1	1	0	0	0	10
	COVID-19関連	2	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1	9
	その他	2	3	0	2	0	0	11	18	12	9	4	0	61
その他の疾患	皮膚疾患	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	昆虫刺傷	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	整形外科疾患	3	1	4	6	0	2	5	1	1	3	0	1	27
	眼疾患	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	3
	耳鼻科疾患	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
	泌尿器科疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	口腔疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	精神衛生	0	5	3	2	4	4	4	9	6	9	1	4	51
	合　　計	29	41	47	50	10	13	47	54	39	45	9	10	394

前年度と比較すると、保健管理センターの来室者数や検査･処置件数に大きな変化はみられなかった。一方で、自動血圧計や体組成計の利用者数は顕著に増加していた。また、健康測定機器の利用増加に加え、健康診断受診率の向上や保健指導の実施件数も増加も認められ、日常的に自身の健康状態を把握し、主体的に健康管理に取り組む行動が定着しつつあることが示唆された。

8．各キャンパス業務内容利用状況

(1) 青山キャンパス

①保健管理センター全来室者数　　(2026年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期健康診断者数		10508	－	－	－	－	632	－	－	－	－	－	－	11140
フォローアップ健診者数	教職員	－	－	－	－	－	－	－	1	2	14	9	－	26
学生外部受診者数		33	29	47	1	0	3	0	－	－	－	－	－	113
証明書発行者数(窓口)		2	3	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	9
救急処置･検査等		422	425	297	247	49	128	455	360	310	233	112	113	3151
自動血圧計		90	104	119	105	29	58	84	95	67	91	30	34	906
体脂肪計		1	12	12	0	0	0	0	8	9	0	0	0	42
合　　計		11023	544	428	352	78	820	540	463	387	324	142	147	15248

＊フォローアップ健診者数・学生外部受診者数は外部医療機関で実施のため合計には含まず

②精神科医面談者数＊教職員の面談にはセカンダリーも含む　　(2026年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	7	7	4	1	1	1	1	5	5	2	0	3	31
教職員	9	12	17	30	2	16	25	9	20	15	9	22	186
合　　計	16	19	21	31	3	17	26	14	25	17	9	25	217

③事故・病院搬送及び救急車依頼件数　(2026年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身分	学生	2	1	0	3	0	0	0	1	0	1	0	1	9
	教職員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3
合　計		2	1	1	5	1	0	0	1	0	1	0	1	13
原因	事故	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	疾病	2	1	1	5	0	0	0	1	0	1	0	1	12
対応	救急車依頼	2	1	1	3	0	0	0	1	0	0	0	1	9
	病院搬送	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	4
合　計		2	1	1	5	1	0	0	1	0	1	0	1	13

保健管理センターの全来室者数および事故・病院搬送及び救急車要請件数については、前年度と比較して大きな変動はみられなかった。

精神科医による面談は、年間217件実施されており、その内訳は教職員が186件（全体の86%）と大部分を占め、学生は31件（約14%）にとどまっている。教職員については、年間を通じて一定数の面談が継続的に実施されており、今後も支援体制の維持が重要である。一方、学生に関しては新規相談者が一定数含まれており、今後、精神科医による医療的介入が必要と判断され、医療機関受診へ移行するケースの増加が示唆される。また、長期休業期間中は面談件数が減少する傾向がみられるものの、前期開始時および後期後半には相談件数が増加する傾向があるため、引き続き注視が必要である。

(2) 相模原キャンパス

①保健管理センター全来室者数　(2026年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期健康診断者数		4926	315	0	0	0	310	0	0	0	0	0	0	5551
フォローアップ健診者数	教職員	−	−	−	−	−	−	6	1	4	4	8	0	23
	特殊健診 他	−	6	1	−	−	−	1	−	−	−	−	−	8
学生外部受診者数		17	23	14	0	1	0	0	−	−	−	−	−	55
証明書発行者数(窓口)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急処置･検査等		209	169	86	80	15	37	92	115	89	83	22	40	1037
自動血圧計		65	100	107	102	9	52	79	41	55	27	2	13	652
体組成計		24	12	41	34	4	31	21	21	32	14	4	2	240
合　計		5224	596	234	216	28	430	192	177	176	124	28	55	7480

＊ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ健診者数・学生外部受診者数は外部医療機関で実施のため合計には含まず

②精神衛生面談者数　(2026年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	0	3	1	1	1	2	2	3	2	3	0	2	20
教職員	5	5	1	2	0	2	1	1	2	1	0	2	22
合　計	5	8	2	3	1	4	3	4	4	4	0	4	42

③事故・病院搬送及び救急車依頼件数　　(2026 年 3 月 31 日現在)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
身分	学生	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	教職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計		0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
原因	事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	疾病	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
対応	救急車依頼	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
	病院搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計		0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2

2025 年度の学生健康診断受診率は 76.6%、教職員健康診断受診率は 94.1%であり、いずれも前年度より上昇した。教職員健康診断受診者のうち、フォローアップ健康診断や人間ドックを利用した者は 19.3%で、年々増加していることから、これらの制度整備が受診率向上に寄与しているものと考えられる。

一方、保健管理センターの全来室者数に大きな変化はみられなかったが、学生の精神衛生面談件数は 28 件から 20 件へ減少した。なお、保健管理センターが介入した救急車要請件数は 2 件であり、いずれも速やかに医療機関へ搬送され、適切な治療につながっている。

9．行事のための救急待機保健管理センター利用状況

2025 年	ｷｬﾝﾊﾟｽ	行事	男	女	合計	症状・所見
4/1（火）	青	入学式	0	0	0	
6/14(土)	相	ﾍﾟｱﾚﾝﾂｳｨｰｸｴﾝﾄﾞ企画ｷｬﾝﾊﾟｽ見学会	1	0	1	外傷（1）
6/7(土)	青	ﾍﾟｱﾚﾝﾂｳｨｰｸｴﾝﾄﾞ企画ｷｬﾝﾊﾟｽ見学会	0	0	0	
7/13(日)	相	オープンキャンパス	1	2	3	外傷（1）、体調不良(2)
7/19(土)	青	大学院説明会	0	0	0	
8/1(金)・2(土)・3(日)	青	オープンキャンパス	0	7	7	鼻出血(2)・貧血(1)
9/5(金)・6(土)	相	理工学研究科入試	0	0	0	
9/6(土)	青・相	社会情報学研究科入試	0	0	0	
9/23(火祝)	青	大学同窓祭	1	2	3	打撲(2)・火傷(1)
10/11(土)・25(土)	青	2026 年度入学者選抜(年内実施)	0	0	0	
10/11(土)・12(日)	相	相模原祭	1	0	1	外傷（1）
10/11(土)	相	ﾍﾟｱﾚﾝﾂｳｨｰｸｴﾝﾄﾞ企画 秋のｷｬﾝﾊﾟｽ見学会 ＊2025 年度は待機依頼がなく相模原祭の一環内の該当者	0	0	0	
10/25(土)・11/24(月祝)	相	2026 年度入学者選抜入試(年内実施)	0	0	0	
10/31(金)～11/2(日)	青	青山祭	6	7	13	感冒(2)・外傷(3)・火傷(2) 捻挫打撲(2)・その他(4)
11/8(土)	相	地球社会共生学部 10 周年イベント待機	0	0	0	
11/22・24(土祝)	青	2026 年度入学者選抜(年内実施)	0	0	0	
11/29(土)	青	ﾍﾟｱﾚﾝﾂｳｨｰｸｴﾝﾄﾞ企画秋のｷｬﾝﾊﾟｽ見学会	0	0	0	
12/6(土)	相	理工学研究科入試	0	0	0	
12/6(土)	青	2026 年度入学者選抜(年内実施)	0	0	0	
1/17(土)・18(日)	青	大学入学共通テスト	2	0	2	頭痛(1)・嘔気嘔吐(1)

1/24(土)	青・相	社会情報学研究科博士課程入試	0	0	0	
2/7(土) 9(月)～11(水) 13(金)～15(日) 17(火)～19(木)	青	一般選抜入試	21	4	25	風邪(5)・頭痛(3)・腹痛(4) 生理痛(1)・嘔気嘔吐(6) 鼻出血(2)・切傷(1) その他(3)
3/14(土)	相	AOGAKU OPEN DAY	0	0	0	
3/21(土)	青	ﾐﾆｵｰﾌﾟﾝｷｬﾝﾊﾟｽ「AOGAKU OPEN DAY」	0	0	0	
3/25(水)	青	学部・大学院学位記授与式 ＊2025 年度は特機依頼がなく通常業務の一環内の該当者	1	3	4	貧血(1)・気分不快(3)

１０．各種情報処理

(1) 学生健康診断処理関係

実施年月		処理内容	保健管理センター処理	事務システム部処理
2025年	4月	学生健康診断データ(HCCALT)アップデート処理		4/11
		1回目春プリントファイル更新処理		4/11
		学生定期健康診断有所見者リスト出力処理	4/11	
		2回目春プリントファイル更新処理		4/24
		健康診断結果通知打ち出し処理	4/24	
		健康診断証明書ファイル作成		4/24
	9月	3回目春プリントファイル更新処理		9/30

実施年月		処理内容	保健管理センター処理	事務システム部処理
2026年	2月	2026 年度版 Web 健康調査票表示期間設定(在校生)	2/20(3/2～3/15 に設定)	
		Web 健康調査票バージョンに変更		2/27
		Web 健康調査票次年度用処理		2/27
	3月	2026 年度版 Web 健康調査表示期間設定(新入生)	3/19 (4/1～4/15 に設定)	
		学籍新年度処理		3/26
		学生健康診断対象名簿作成処理	3/26	
		SANSHOUDB 新年度学籍情報参照開始		3/26
		新年度離籍分離処理・ﾒﾓﾃﾞｰﾀ離籍分離処理・保留ﾃﾞｰﾀ離籍分	3/27	
		学生身分異動統計処理	3/18	
		2025 年度版 Web 健康調査離籍者削除処理		3/27

(2) 教職員健康診断処理関係

実施年月		処理内容	保健管理センター処理	人事部処理
2025年	6月	人事部人事課より教職員退職者・定期健康診断受診対象者リスト提供		6/12
		教職員健康診断 Access データ作成処理	6/18	
	9月	人事部給与課より 6 月以降就任、退職者リスト提供		9/12
		教職員健康診断 Access データ更新処理	9/22	
	10月	教職員健康診断アップデート処理	10 月中旬	
		教職員有所見者呼出しリスト出力処理	10 月中旬～通年	
		人間ドック結果用 Access データ作成処理、適宜更新	10 月中旬～通年	
		私学共済提出用健康診査結果処理	10 月中旬～通年	

１１．全国保健管理研究集会研究発表

保健管理センターでは、年に１回開催される全国大学保健管理研究集会において研究発表を行っている。2025 年度は、「大学生のヘルスリテラシーに関する調査」を演題として発表を行った。

年度 （全国保健管理研究集会開催回）	研究発表演題
2012 年度(第 50 回)	「大学生のインターネット依存と疲労自覚症状に関する実態調査」
2013 年度(第 51 回)	「大学生におけるインターネット依存と学年ならびに日常生活状況の関連性に関する調査」
2014 年度(第 52 回)	「大学生の進級失敗リスクとインターネット依存」
2015 年度(第 53 回)	「大学新入生における薬物使用リスクに関する研究」
2016 年度(第 54 回)	「インターネット依存の大学在学中の発症に影響を及ぼす因子に関する検討」
2017 年度(第 55 回)	「学生食堂を利用した生活習慣病予防教育の試み」
2018 年度(第 56 回)	「性教育に対する普及啓発イベントの試みと学生の反応について」
2019 年度(第 57 回)	「女性教職員における睡眠実態に関する調査～三次元睡眠尺度を用いて～」
2020 年度(第 58 回)	①「本学教職員の睡眠に関する実態調査」 ②「性教育に対する普及啓発イベントの試みと学生の反応について」
2021 年度(第 59 回)	①「新型コロナウイルスが大学生に及ぼす心理的影響について」 ②「大学生の新型コロナウイルス感染症対策に関する意識と行動」
2022 年度(第 60 回)	「本学教職員の新型コロナウイルス感染症に対する意識と行動の実態調査 ～新型コロナウイルス恐怖尺度を用いて～」
2023 年度(第 61 回)	①「新型コロナウイルス感染症流行下の大学生の生活習慣と BMI の変化」 ②「睡眠状況の変化が BMI に及ぼす影響について」
2024 年度(第 62 回)	「大学生の妊孕性に関する知識についての調査」
2025 年度(第 63 回)	「大学生のヘルスリテラシーに関する調査」